

## 第411回 長野放送番組審議会

1. 開催年月日 平成22年5月12日(水) 午前10:30より

2. 開催場所 長野放送会議室

3. 委員の出席

○委員総数 10名

○出席委員数 10名

○出席委員の氏名(敬称略・委員は五十音順)

委員長 清澤 研道

副委員長 中村 重一

委員 井出 進子

委員 小出 貞之

委員 小松 正俊

委員 塚田 芳樹

委員 中西 満義

委員 丸山 仁也

委員 茂木 通則

委員 若麻績 信昭

○放送事業者側出席者名

相崎 由松(代表取締役社長)

瀬木 潔(代表取締役副社長)

関 義 仁(取締役編成局・番組審議会担当)

松田 敏和(編成局長)

飯 嶋 憲彦(編成局次長兼編成部長兼視聴者室長)

南 直 敏(制作局長)

山口 慶吾(番組審議会事務局長)

4. 議題

(1) NBS月曜スペシャル

「ザ☆青春～私の10代・20代～」

(4月19日(水)午後7:00～7:54放送)の審議

(2) 視聴者対応報告

5. 議事の概要

## (1) 番組の審議

- ・長野県出身の6人の著名人のそれぞれの青春時代が本人の言葉で語られていて、フレッシュな気持ちで新年度を迎える人にとっていい内容だった。
- ・進学、就職シーズンに合わせたタイムリーな企画だった。
- ・青春時代に好きなこと、やってみたいことを徹底的に追求する、ポジティブに行動する姿を通じて何かを感じてもらえる企画だった。
- ・この番組を通して、自分のやりたいことを早く見つけ出すことの大切さに、多くの若者が気づいてくれたことを期待する。
- ・長野県ゆかりの人物が若者たちの人生の指針となるような生き方を自らのエピソードで伝えており、共感を覚えながら見ることのできる番組だ。
- ・名を成した人にも以外に身近な青春の時があったことを若い人たちが知り、それによって未来に向けた力を得るだろうという、狙いがはっきりした番組だった。
- ・登場人物6人は、詰め込み過ぎだ。人によって取り上げ方の差が大きい。また、また人物をもっと限定した方がより深みが出た。
- ・番組の最後にアナトール・フランスやゲーテなどの言葉が出てくるが、蛇足の感がある。かえって登場人物の重みが薄れてしまったのではないか。

## (2) 視聴者対応報告

編成局より4月の視聴者対応について報告した